

Q.2 稚内市の借入金(地方債)の状況は？

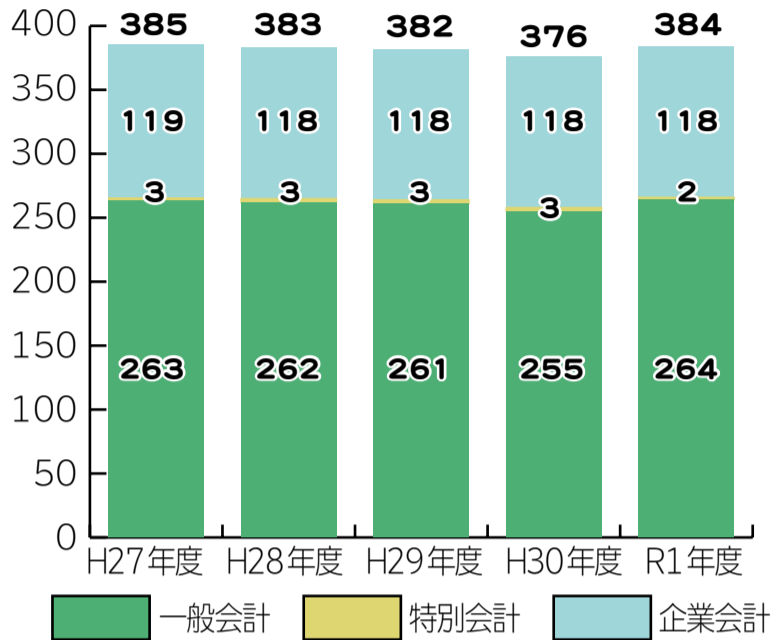
令和元年度末の地方債の残高は、一般会計で264億円、特別会計では2億円、企業会計では118億円となり、全体で384億円となっています。

前年度と比較すると、全体で8億円増加しています。

地方債の令和元年度発行額は一般会計で37億円です。発行額については、その年の建設事業などにより増減します。

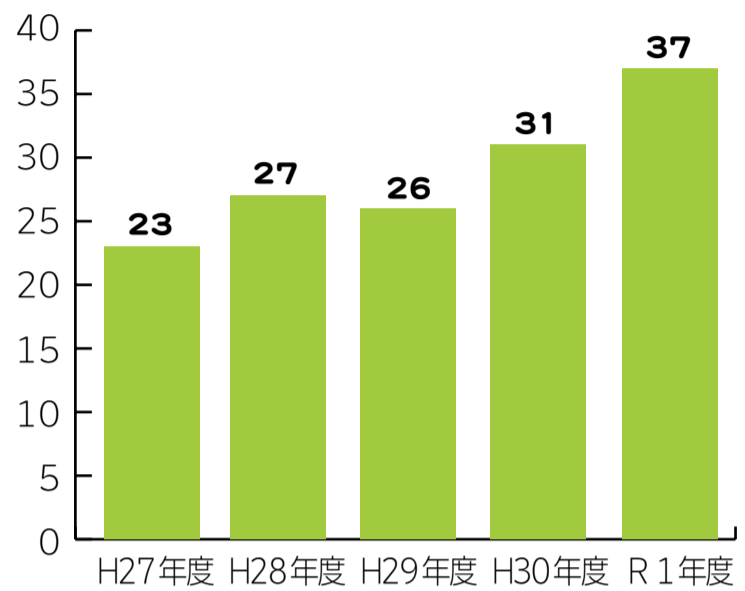
【地方債残高】

(これまでの借入金の合計) 単位：億円



【一般会計の地方債発行額】

(当該年度の借入金の合計) 単位：億円



地方債ってなに？ どうして借り入れをするの？

「地方債」とは「地方公共団体が1会計年度を超えて行う借り入れ」のことです。道路や学校など、長期にわたり利用する施設を建設するときには、一時的にたくさんのお金がかかるため、他の市民サービスを低下させないために地方債を発行しています。

また、これらの施設は現在の市民だけではなく、将来の市民も利用するものなので、地方債を発行することは、その施設の費用をみんなで支え合うという意味もあります。



みんなで負担を分け合うってことは、単なる借金じゃないってことなんだね

地方債を使わないで事業を行うと…

現在の市民だけで支えることとなります。



地方債を使うと…

将来の市民とともに支え合うことができます。



Q.3 稚内市の貯金(基金)の状況は？

令和元年度末の基金残高は、36億円となっています。

前年度と比較すると、まちづくり寄附金(ふるさと納税)の増加に伴い、日本のてっぺん応援基金への積み立てが増加したため、基金残高が2億円増加しました。

この基金は収入不足が生じた場合に備えたり、地域経済の活性化に活用するなど、目的ごとに積み立てし、必要に応じて使用しています。



この貯金は、備えだけでなく、目的ごとに積み立てられているんだね。

【基金残高】

単位：億円

